

第三十回帝國議會
衆議院

不動產登記法中改正法律案外一件

(非訟事件手續法) 委員會會議錄(筆記) 第一回

委員成立

本委員ハ大正二年二月二十日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

横田 千之助君 工藤 吉次君 佐野 喜平太君

清水 市太郎君 岡田 榮君 高木 益太郎君

野村 嘉六君 村松 龜一郎君 花井 卓藏君

同月二十二日午前十時三十八分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

工藤 吉次君 岡田 榮君 高木 益太郎君

野村 嘉六君 花井 卓藏君 佐野 喜平太君

年長者花井卓藏君投票管理若トナル

○投票管理若(花井卓藏君)ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○高木益太郎君ハ投票ヲ用井ス花井卓藏君ヲ委員長ニ岡田榮君ヲ理事ニ推薦スヘシトノ意見ヲ提出ス

○投票管理若(花井卓藏君)ハ高木君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ自己ハ委員長ニ、岡田榮君ハ理事ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

○委員長(花井卓藏君)ハ引續キ會議ヲ開ク旨ヲ宣告ス

會議

出席政府委員左ノ如シ

司法次官法學博士 小山 溫君 司法省民事局 齋藤十一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

不動產登記法中改正法律案

非訟事件手續法中改正法律案

(以下速記)

○委員長(法學博士花井卓藏君) 會議ヲ開キマス、政府委員 ヨリ分カルヤウニ短カク説明ヲ願ヒマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 本案提出ノ理由ノ大體ハ先日本會議ニ於キマシテ他ノ政府委員カラシテ一應申上テアリマスガ、此改正ノ要點ノ主モナルモノヲ私カラ一應申上ヤウト思ヒマス、改正ノ要點ト致シマシテ其中ノ最モ主ナルモノヲ擧ゲテ申シマスレバ、先ツ登記簿用紙ノ區分數——區分數ヲ減ジタコトデアリマス、現在ノ如ク土地ニ付テハ五ツニ分レ、建物ニ付テハ四ツニ分レテ居リマス、入用ノ部分ハ數回繼續用紙ヲ用ヒテ書き記スコトナリ、他ノ要ラナイ部分ハ白紙ニナツテ殘リ居ルト云フ有様デゴザイマシテ、登記簿ノ數ヲ非常ニ増シマスノデ、隨ツテ登記簿ノ保存上倉庫ナドモ段段不足ヲ感ズルヤウニナルデアリマス、又本省ノ方カラ申シマシテモ、登記簿ノ謄本ヲ求メマストキニ餘計ノ手数料、即チ白紙ノ分マデモ手数料ヲ拂ツテ謄本ヲ作ルト云フコトナリマスノデ、此區分ヲ二ツ位ニ減ズル方ガ便宜デアルト認メマシテ、左様ニ致シタノデアリマス、次ハ數個ノ不動產ヲ目的トシマス 先取特權、質權、抵當權ノ登記ニ付テ、

共同擔保目錄ノ制ヲ新タニ定メタルデアリマス、御承知ノ通り數個ノ不動產ガ例ヘハ抵當ニ這入リマシタ場合ニハ、一筆々々ニ不動產用紙ニ各個ノ不動產全部ヲ記載致シテ、其ノ不動產ハ共ニ抵當ノ目的トナツタモノデアルコトヲ記載サセルコトナリマスガ、斯様ニ致シマスル例ヘハ百筆ノ不動產ヲ抵當ニ入レルトキハ、一万筆以上ノ名前ヲ書カナケレバナラヌト云フ結果ニナリマスノデ、登記所ノ手續ハ大變デアリマス、ノミナラズ當事者ガ早ク登記ヲシテ貰ハウト云フ場合ニモ問ニ合ヒ兼ネマスシ、又謄本ノ作製ニモ非常ニ暇ガ取レルト云フコトナリマス、ソレデ其共同擔保目錄ト云フ制ヲ新タニ設ケシテ、兎ニ角登記ヲ當事者カラ目錄ヲ差出シマシテ、其目錄ヲ登記簿ノ一部トナシ、其目錄ヲ登記ノ記載ト看做スコトニ云フコトニ致シタルデアリマス、尤モ此目錄ヲ書クコトハ當事者ニ取リマシテ餘程手續ノヤウニモ 御覽ニナルカモ 知レマセヌケレドモ、是ハ手續デハゴザイマセヌ、現行法ニ依ツテモ申請書ヲ書クトキハ悉ク書クノデスカラ、其申請書ニ書キマスモノヲ目錄ニ書キマシテ、サウシテ申請書ニ目錄記載ノ通リト書カセル見込デアリマス、サウ致シマスト不動產ノ記載手續ハ現行法モ今度ノ申請書モ全ク一デアリマス、サウシテ其目錄ガ出來マシタ場合ニ、今度ハ個々ノ不動產ニ付テ變更消滅等ノ登記ヲ致シマストキニハ、其消滅又ハ變更ニ係ル不動產ノ用紙ニ其事ヲ掲ゲルノハ勿論デアリマスガ、目錄ヲ一箇所直セバ皆ナノ登記ヲ直ス必要ハナイト云フコトナリナルデアリマス、ソレカラ次ニ申上ル要點ハ、御承知ノ通り登記ハ當事者ノ申請カ又ハ官廳公署ノ囑託アル場合デナケレバ登記ヲ致サナイ趣意デゴザイマスガ、是ガ例外ヲ四ツバカリ設ケマシテ、申請ガナクとも職權ヲ登記ヲシテ、サウシテ當事者ノ申請ノ手續ヲ省キ、早ク登記ノ完了スルヤウニ致ス、斯ウ云フ趣意ヲ取リマシタノデ、其一ハ行政區劃ノ字又ハ名稱ノ變更ガゴザイマシテモ、他ノ申請又ハ囑託ヲ必要トシナイ、法律上當然變更ガアツタモノト看做スコトニ致シタノデアリマス

○委員長(法學博士花井卓藏君) チョット御發言中デスが御注意致シマス、改正ノ目的ハ第一登記簿用紙ノ區分類ヲ減ズルニアリ、其理由ハ無用ノ手續ヲ減ジ、兼テ登記簿ノ保存ニ便センガタメナリト云フヤウニ言フテ、二ツモ、三ツモ言ハレルト、其説明ハ條文ノドレトドレニ當ルト云フヤウニ言フテ貰ウ方ガ宜イト思ヒマスカラ、御注意致シマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) ソレカラ此地盤ノ行政區劃又ハ字名變更ノタメニ伴ヒマスル地番ノ番號ノ變更ハ、職權ヲ以テ登記ヲナスコトニ改メマシタ、ソレカラ登記官吏ガ誤リマシテ登記ノ錯誤遺漏ヲ來シマシタトキニハ、是ハ職權ヲ以テ更正ノ登記ヲナスコトニ云フコトニ致シマシタ、ソレカラモウ一ツハ元來許スベカラザル登記ヲ登記シテ居ッタノヲ、是モ職權ヲ以テ抹消セシムルト云フ手續ヲ定メマシタルデアリマス、ソレカラ次ハ代位登記ヲ現在ハ民法ノ債權者ガケガナスコトガ出來ルコトニナツテ居リマシタノヲ、範圍ヲ擴張致シマシテ滯納處分ヲナシマスル官廳、又ハ公署、ソレカラ河川ノ區域ヲ認定シマスル官廳、土地收用ノ起業者ハ、是等ノ者モ代位登記ヲ爲スコトガ出來ルヤウ

ニナリマシタノデアリマス、其他建物ノ登記ニ敷地ノ地目段別ノ記載ヲ要セナイト云フコトニ致シ、ツレカラ市町村ノ如キ公署ガ不動産ニ關スル權利ヲ取得シタル場合ニモ、登記ノ囑託ガ出來ルト云フコトニ致シ、尙登記簿ノ謄本抄本ノ手續ヲ簡單ナラシムル等、種々改正ヲ加ヘタノデアリマス、要スルニ是等ノ改正ハ事務簡捷ヲ致シマシテ、豫テ不備ノ點モ補フタ點モゴザイマス、大體申上ゲマスノハ是ダケデアリマス

○横田千之助君 チヨット伺ヒマスガ、此改正ニ依リマシテノ位ノ經費ヲ減ゼラレルカ、ドノ位ノ手數ヲ省ケルト云フヤウナ御調ガゴザイマスガ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 此點ニ付キマシテ經費節約額ハ算定致シマセヌノデアリマス、多少ハ節約ガ出來ヤウト思ヒマスガ、現在ハ餘程無理ナ仕事ヲシテ居ルノデアリマシテ、實ハ成ルベク早く仕事ヲ致シ、申請人ニ便宜ヲ與ヘヤウト云フヤウナ主眼デゴザイマシテ、是カラ幾ラ經費ヲ節約シテ、其經費ヲ他ノ方ニ充當スルト云フ趣意カラ出デ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○横田千之助君 手數ハ餘程省ケルノデアリマスガ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 左様デゴザイマス

○野村嘉六君 政府委員ニ御尋シマスガ、ヤハリ關聯シタ問題ト思ヒマスガ、今日ノ現在ニ見マスルト不動産登記ハ全部裁判所ノ書記ニ於テ取扱ヅテ居ルノハ事實デアリマスガ、其處テ表面ハ判事ガ不動産登記事務ヲ取扱フト云フコトニハナッテ居リマスケレドモ、是ハ殆ド有名無實デ、判事ガ取扱フト云フコトハ斷ジテ事實ニ於テナイノデアリマスガ、是ハ寧ロ此權限ニ付テハ、實際取扱フトコロノ書記ノ職責トシテ御置キニナッダ方ガドウ云フモノデアリマセウカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 此點ハ先頃當院ヲ通過致シマシタ裁判所構成法ノ中ニ明ニ規定致シマシタ

○高木益太郎君 此不動産登記簿ノ事ニ付テハ、實際弊害ノ多イト云フコトニ付テ、大分政府ガ注意サレテ居ルヤウデスガ、抵當權設定後ノ地上權ナドヲ設定致シマシテ、其抵當權者ガ抵當權ヲ執行シテ競賣シテ仕舞ツテモ、登記簿上地上權ノ存在ト云フモノガ載ヅテ居ル、之ヲ消スト云フヤウナコトニ付テ餘程煩ハシヤウデスガ、其點ニ付テハ政府ハ此際何カ調査セラレタコトガアリマスガ、ドウデスカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今御尋ノ點ハ競賣法改正ノトキニ問題ト致ス積リデアリマスガ、今回ハ競賣法マテ手ヲ著ケマセヌノデアリマスガ、左様御承知ヲ願ヒマス

○高木益太郎君 此今度ノ改正案ハ大分便法ヲ設ケラレタヤウデスガ、登記所ヘ行ッテ登記簿ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ、其閱覽申請人ガ登記簿ノ要領ヲ記載シテ來ヤウト思フト云フト、登記官吏ハ閱覽ハ許シタアルケレドモ、登記簿ノ謄寫ハ許サヌナド云フヤウナ誤解ヲ爲ス者ガアルヤウデアアルガ、政府ノ方針デハサウ云フヤウナコトハ正シクナイト云フ考ガアルカドウカ、登記簿ハ見セル、併ナガラ書イテ行ッテハイカヌナドト云ッテ、屢々申請人ノ迷惑スル者ガアル、見ル以上ハ、澤山アル場合ニハドウシテモ記憶ノタメニ手帳ヲ出シテ書イテ行クト云フコトハ當然ノ譯ダラウト思ヒマスガ、登記所ニ於テハ往々閱覽ハ許ス、併ナガラサウデナケレバ謄本ヲ請求シロト云フヤウナコトヲ言フ譯デアアルケレ

ドモ、ツレハ司法省カラデモ何カ其點ニ付テ命令デモシタコトガアルカドウカ、吾々ノ考ニ依ルト、見ル以上ハ其要領ヲ記憶ノタメニ書イテ來ルコトハ差支ナイモノデアルト思フデスガドウデスカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 其點ハ司法省デモ御説ノ通りデゴザイマシテ、謄寫ハ許シ得ルノデアリマスガ、或ハ登記所ノ中ニハツレハイカヌト云フ心得違フトコロモアラウカト存ジマスガ、ツレハ精々注意致シマス

○佐野喜平太君 私ハ不幸ニシテ半バニ出マシテ、委員會ノ經過ヲ存ジマセヌカラ、重複スルカ知レマセヌガチヨット伺ヒマスガ、今度登記手續ニ關スル改正、即チ事務ノ簡捷ヲ計ル御趣意デ御提案ニナツタコトハ諒ト致シマスガ、之ニ關聯シテ御問ヲ致シタイ事ハ、最初抵當ヲ設定サレタ者ニ竊ニ第二第三云フ抵當ヲ設置致シマシテモ、登記證下付ノ上ニ別段分リ易イ方法形式ヲ取ツテナイカラ、登記取扱者ニ好意ガアッテ之ヲ債權者ニ注意警告ヲ與ヘル場合、即チ登記ヲ取扱フ者ニ好意ガアレバ格別、サモナケレバ知ラズ識ラズ一番抵當ノ積リテ居ッタモノガ、實際ハ二番三番ノ登記ニナッテ居ルト云フコトハ實際ニ於テアル、法律家ニ就テ聞ク處ニ依レバ、登記法ハ公示方法デアアルカラ、ツレハ其時ニ抵當權ヲ安固ニセンタメ登記簿ヲ閱覽スレバ別段、サウ云フ不幸ニカカル事ハナイデヤナイカト云フコトヲ聞キマシタガ、實際ハ是ガタメニ債主ニ餘計ノ疑心ヲ起サセ、爲メニ地方ノ農工銀行ノ如キ其狀態ヲ聞キマス、僅カナル資金ノ融通ヲナスニモ、態遠クニ出掛ケテ行ッテ登記簿ヲ閱覽スルタメニ、費用ト時間トヲ費スト云フ恐レガアルサウデアアル、爲メニ自然金ヲ借リルモノモ不便ヲ來スト云フ恐レガアル、此邊ノ改正ニ付テハ當局者ニ於テハ御調ベハナカッタノデアリマスガ、ドウ云フモノデアリマスガ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 其點モ實ハ今御話ノ農工銀行ノ總會ノ決議ヲ以チマシテ、タシカ新瀉ノ農工銀行頭取デアッタラウト思ヒマスガ、司法省ニ參リマシテ意見ヲ請ハレタ事實モアルノデアリマス、ケレドモ現行法ノ規定ノ上カラ見マシテ、ドウシテモ登記官吏ガ一々不動産ニ當ツテ調査シテヤルト云フコトハ事實困難デ出來マセヌノデアリマス、マア已ムヲ得ズ債權者ガ調査スルト云フコトニシマセヌト、ドウモ致方ナカラウト思フノデアリマス、他ニ便法ガゴザイマスレバ宜シウゴザイマスケレドモ、ドウモ便法ヲ發見致シマセヌノデ……

○佐野喜平太君 年月ハ覺エテ居リマセヌガ、此ノ登記法ノ改正ノ以前ニ於テハ、第二第三ト抵當權ヲ重ネテ設定スル時ニハ、債權者ノ承認ヲ要スル旨明カニ手續ガ規定サレテ居ッタト思ッテ居リマシタガ、其後改正ノ結果、無論公示方法ナルガ故ニ、ツレハ債權者ガ其時ニ登記簿ヲ閱覽シタラ宜カラウ、別段コナカラ心配スルコトハ要ラヌト云フヤウナコトガ、或ハ登記簿記載ノ整理上ノ都合デアアルカ、唯今ノ御話ノヤウニ便法ガナイト云フヤウナコトカラシテ條文ヲ除カレタノカ知リマセヌガ、今ノ御話ガト云フト、債權者ガ實際ニ於テ登記簿ヲ閱覽シテ、サウシテ自分ノ安全ヲ計ルヨリ外ニ取扱フ途ハナイト云フコトデアリマスガ、何カ登記簿整理ノ手續上ヨリシテ、サウ云フ御話ニナルノデアリマスカドウ云フ譯デスカ、是マデ登記官ハ隨分實際ノ事務ヲ扱フニ於テハ、好意ヲ以テ世話シテ呉レタ例ガアリマシタ、行キマスト云フト、是ハオ前ニ番カニ番デアアルガ、ツレデ宜シイノデアアルカト云フヤウニ、好意的ニ注意ヲ與ヘテ呉レタコトモ實際ニ於テハアル、

法律ニ於テハ命シテアリマセヌガ、登記官ノ好意ヲ實際ニ於テハ警告ヲ與ヘツ、アル、サ
ウスルト實際ノ取扱上不便ダト云フコトハナイヤウニ思ヒマスガ、ドウ云フ點カラ取扱上
不便デアリマスカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 左様デアリマス、筆數ガ僅カデアリマスレバ、
ソレハ登記所ノ官吏ガ今マデモ能ク注意ハ與ヘテ居リマス、ケレドモ農工銀行ノ如キ
數百筆ニ互ル登記ハ、一々調査シテ注意ヲ與ヘルト云フコトハ非常ニ困難ナコトデア
ル、ドウモ出來ルベクハ致シマスケレドモ、サウ數百筆モアルモノハ容易ナラザル事
デアルカラ、ドウモ餘程困難ノ事情ノアルコトダケハ御酌取リヲ願ヒタイノデアリマス

○高木益太郎君 唯今ノ御質問ハ、實ハ本員等モ非常ニ同感デアツテ、殊ニ農工銀
行ノ如キハ、債權者ノ方デモ相當ナ能力ノアル人ガ登記所ニ出頭スルノデアリマス
實際ノ上ニ於テハ餘リ弊害ハ少ナイデアリマスガ、農工銀行ノ如キ立派ナ人間ヲ使
フモノデナクシテ、婆サントカ爺サントカ云フヤウナモノガ多ク被害ニナル事件
ガ實際刑事ノ上ニハ多イ、何トナレバ登記所デハ何番抵當デアルト云フコトヲ言
ハナイカラ、一番抵當デアルト思ッテ金ヲ貸シタ——登記所ニ於テモ默ッテ居ルカラ
其積リテ取引ヲ終ヘタ、愈債權ヲ執行シヤウト思ッテ辯護士ノ所ニ證書ヲ持ッテ行キ、辯護士
ガ登記所ヲ調ベルト、二番抵當デアルト云フヤウナコトデ、非常ニ詐欺
ニ掛ルモノガ多イヤウデア、然ルニ唯今モ述ベラレタ如ク、舊法ノ下ニ於
テハ登記證書ニ二當トカニ三當トカニ云フコトヲ必ズ明記スルコトニナツテ居
タ、實際登記證書ニ金ノ取引ヲスルノニ、一番ナラニ二番ト書イテアレバ、サ
ウ云フ被害ノ起ルト云フコトハ事實無イ、畢竟登記ト云フモノハドウデア
ルカト云フ、取引ヲ正確ニシテ、サウシテ此間ニ詐欺ノ行ハレナイタメニ、町
村役場デ登記スルト云フコトヲ裁判所ニ取ツタ云フ趣意デア、其趣意カラ見
マスレバ、唯今ノ御質問ノ趣意ハ政府ハ同情ヲ表サレテ、農工銀行バカリ
デハナイ、寧ロ農工銀行以外ノ取引ノ場合ニ於テ、登記簿ヘ何番抵當
ト云フコトヲ書クト同時ニ、登記證書ニ二番ナラニ二番ト云フコトヲ附記
シテ置ケバ、偶ニ關係人ニ對シテ登記所ノ官吏ガ告知ヲ怠ツテモ、自分
ノ證書ニ二番抵當ト書イテアレバ、ソレヲ見テ金ノ取引ヲスルヤウナコト
ニナル、ソレハ從來戶長役場ガ登記事務ヲ扱ッテ居タ場合ニモ、常ニサ
ウ云フコトヲヤツテ居タ、然ルニ法律ガ改正ニナツテ、却テ詐欺ガ行
ハレルトコトニナツテ、甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、是ハ實際害
モナイコトデア、唯今ノ御質問ノ趣意ニ依ッテ政府ガ此處ニ一箇條ノ文ヲ
加ヘラレドウデアリマスガ、餘程詐欺モ減ジテ、隨テ名案デアラウト私
ハ考ヘマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 其場合々々ニ應ジマシテハ見テ、マア御話
ノオ婆サントカ爺サントカ何モ分ラヌヤウナ者ガ出テ來タ時ニハ、是ハ精々
注意ハ致サセマスガ、今御話ノ舊法ノ時代ニ登記證書ニ三順位番號ガ
謳テアル、現行法ニ三順位番號ガ謳テアル、法律デハソレハ謳テアルノ
デアリマス、ソレハドウカ尙御調ベヲ願ヒマス

○佐野喜平太君 唯今質問中デアリマスケレドモ、私ハ質問結了後
ニ今ノ趣旨ヲ以テ條文ノ修正ヲ加ヘタイノデアリマス、ソレハ今政府委員ノ御話
デアリマスケレドモ、唯今ノ所デハ其今ノ登記官ガ、唯ソレヲ見
タケテ一番ガ死シテ居ルトカ、二番ガ生キ居

ルトカ云フヤウナコトガ解ルノデアリマスカ
○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今申上ゲマシタノハ、順位番號ヲ書クト
云フコトデアリマス、元ノガ生キテ居ルカ居ラヌカト云フコトハ書イ
テアリマセヌカラ、ソレハ解リマセヌ

○野村嘉六君 今御尋ニナラレタノハ普通ノ二重抵當ニナルヤツデア
リマスガ、之ト同ジ理由ノ下ニ、入夫婚姻ニヨル場合、竝ニ隱居ニ依
テ家督相續ヲスル場合ニ、一面ニハ財產留保ノ規定ガアルノデア
リマスカラシテ、民法ノ規定ニ依テ財產留保ノ手續ヲ致シマシ
タナラバ、隱居者又入夫婚姻ヲナス女戸主ハ、ソレハ權利ヲ留保
スルコトニナツテ居リマス、トコロガ登記法ノ四十一條ヲ見
マスルト、「登記原因ガ相續ナルトキハ申請書ニ相續ヲ證スル戸籍
吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス」
斯ウ書イテアリマスルカラシテ、之ニ依ルト單ニ此相續ヲシ
タト云フ戸籍吏ノ書面ヲ持ッテ行ツタナラバ、ソレハ總テノ不動
產ガ切り代ルヤウニナツテ居リマス、サウ致シマス、一面ハ民法
ノ規定ニ依テ留保シテ置キマシテモ、一面ニハ相續人ガソレ
ダケノ手續ヲシテ總テノ財產ヲ切り代ヘル、斯ウナルガ第三者
ガ其地面ヲ抵當ニ取ルヤウナ場合ニナルト、後日ニ至ツテ
是ハ民法ノ九百八十八條ノ規定ニ依テ隱居者ノ手ニ於テ此
財產ハ留保シテ居ル財產デア、斯ウ云フヤウナコトガ實例
ニ於テアルノダサウデス、サウスルト抵當ヲ取ツタ債權者
ハ結局損ヲスルカ、損ヲシナクトモ始終訴訟ヲ起サナ
ケレバナラヌヤウナ結果ニ實際ニ於テナツタ實例ガアル
サウデアリマス、先程二重抵當ノコトニ付テ質問ガアリ
マシタガ、私ハ隱居者又ハ入夫婚姻ヲナス場合ニ於テハ、
四十一條ニ一箇條御加ヘニナツテ、其時ニハ入夫者ノ承諾書、
竝ニ又隱居者ナラバ隱居者ノ承諾書ヲ添付シテ、サウ
シテ登記ヲ制スルコトニシタナラバ、サウスルト隱居者
ノ方モソレガ爲メニ不當ノ損失ヲ醸スコトモ、亦抵當
ニ取ル債權者ノ方モ損害ヲ蒙ル虞レガナイト思ヒマスガ、
判例竝ニ司法省ノ民法ニ依リマシテモ、其點ハ明瞭
ニナツテ居リマセヌ、恚ルコトハ社會行爲ニアルノ
デアリマス、大阪ノ農工銀行ニ於テモ全國ノ農工銀行
ニ照會ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス、司法省
ニ於テモ之ニ對スル御意見ヲ聽キタイノデアリマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 其點ニ付キマシテハ從來問題等モ起
ツタ事例モゴザイマスカラ、ソレハ調査シテ居リマシタノデス、ケレドモ其
事ハ大分民法ノ規定、戸籍法ノ規定、托モ關係ヲ致ス
モノデアリマスカラ、今度ノ改正ニ於キマシテハ、事務
整理上最モ急務ト認メタモノダケラ茲ニ提出シ
タヤウナ次第デアリマシテ、其問題ニ付テドウ致
スカト云フコトニ付テハ、研究問題ノ一ツニナツ
テ居ルノデアリマス

○野村嘉六君 他ノ法律ニ關聯ガアルカモ知
レマセヌガ、此弊害ヲ除クニハ自分ノ考デハ登記
法ノ四十一條ニ但書ヲ附ケテ頂イタナラバ、ソレ
デ效果ヲ收ムルコトガ出來ルダラウト思フ「登
記原因ガ隱居者又ハ入夫婚姻ニヨル家督相續
ナルトキハ申請書ニ隱居者又ハ女戸主ノ承諾書
ヲ添付スルコトヲ要ス」是ダケノ文字ノ但書ガ
入ツタナラバ、ソレデ此弊害ヲ杜絶スルコトガ
出來ルヤウニ思ヒマスガ

○委員長(法學博士花井卓藏君) 四十一條
ニ但書ヲ附ケルノデスナ
○野村嘉六君 第二項ニシテモ宜イノデス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 其御修正ハ詰リ斯ウナルノデアラウト思ヒマス、若シ移轉登記ヲ致シマセヌケレバ、從來ノ隱居者又ハ女戸主ノ財産ハ隱居者女戸主ガ留保シタル財産ナル、斯ウ云フ趣意カラサウナルデアラウト思ヒマスガ、ソコガ問題デアリマス、詰リサウ云フ趣意ニスルカ、或ハ留保ト云フ制度ヲ一ツ設ケルカ、ソコガ問題ガドウシテモ分レル、女戸主ガ財産ヲ留保スル、隱居者ガ財産ヲ留保スルト云フ制度ヲ設ケル、登記ヲ要スルト云フコトニ致シマス、民法ノ改正ニナルノデアリマス、御説ノ通りニ修正ヲ加ヘマシテモ、登記ヲシマセヌ時ニ取ルカ、期限ヲ附ケテ置キマセヌト、登記シマセヌ時ニ取ルカ問題ガ起ル、根本問題トシテハ留保ト云フ制度ヲ設ケルノ相當チヤナイカ、是ハ確定シタ意見チヤアリマセヌガ、サウ云フ議論ガアル、ソコデソレヲ認メルノニハ、ドウモ民法ノ規定ヲ讓ラナケレバナラヌト云フデスカラ、サウスルト今度ノ間ニ合ハナカッタノデアリマス、是ハ他日ノ調査ニ讓ルト云フコトニシテアリマス

○野村嘉六君 所謂移轉ト云フ中ニハ其權利ノ制限行為モ入ッテ居ルノデアラウト思ヒマス、無論抵當トカ質トカ、詰リ制限行為ナラバ處分行爲ノナイ時ニハ議論ノナイモノデアリマシテ、ソレハ隱居者若クハ入夫婚姻者ノ方デ權利ヲ其儘ニ——入夫婚姻ナラバ女戸主ハ其儘權利ヲ持續スルト云フコトハ問題デアリマセヌノデ、其時ニハ問題ハナイ、今政府委員ノ御答ノアルトコロハ、唯自分ノ方デ問題ガアツタ、サウシテ之ガ爲メニ損害ヲ蒙ッタト云フノハ、之ヲ抵當ニ入レタトカ乃至賣買シタ時ニハ、今申シマス通りニ損害ヲ蒙ル、斯ウ云フノデアリマス、サウナリマシタ以上ハ私ハ民法ノ改正ヲシナクテモ登記法ニ御入レニナッタ方が、此弊害ヲ杜絶スルコトハ直グ出來ルヤウニ考ヘマスガ、ソレハドウデス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 先程申上ゲマシタヤウニ、此所ニ隱居者又ハ女戸主ノ承諾書ヲ得マシタ所デ、相續ノ登記ヲ何時マデニシナケレバナラヌト云フコトハナイノデアリマス、其間ノ弊害ハ防グコトハ出來ナイ、ソレヨリカ寧ロ留保ト云フ主義ヲ認メマス方が相當デハナイカ、申上ゲルマデモナク相續ハ原則トシテハ一切ノ財産ヲ移轉セシムルノデアリマス、其原則カラ見マシテモ、却ッテ留保ト云フ明文ガアルノガ相當デナイカト思フ、先ッ私一個ノ考デハ其方ニ傾イテ居リマス、此問題ハ其點ノ研究ニマデ讓ルコトニ一ツ御願ヒ致シタイ

○野村嘉六君 サウスレバ尙御尋ネシマスガ、政府ニ於カレテモ兎モ角モ此點ニ就テ缺點ノアルコトヲ御認メニナッテ居ル、之ニ對シテ方法ヲ講ズルノハ本期議會デハイカヌカラ、次マデ延バシテ救済方法ヲ御採リニナルノデスカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 政府ハ調査ハ致シマス、調査ノ出來次第ニ其點ハ提案ノ機會ガアルデアラウト存ジマス

○高木益太郎君 尙ホ政府委員ニ御尋シマスガ、佐野君カラ補足ノ點ハ實際ニハ必要ニ思フノデス、現ニ登記法第十七條ニ「抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルキト利息ニ關スル定アルトキ其發生期若クハ支拂時期ノ定アルトキ債權ニ條件ヲ附シタルトキ又ハ民法第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス」之ニ持ッテ行ッテ一番抵當、又ハ一番抵當ガアルト云フコトヲ書加ヘサヘスレバサウ云フ詐偽ガ行ハレルト云フコトハナカラウト

思フ、或ハ齋藤サンハ登記所ノ實際ガドウ云フ工合ニ申請人ガ登記簿ヲ熟閱シテ申請スルヤ否ヤノ事實ヲ御調ベニナッタナラバ、佐野君ノ御議論ト云フモノハ洵ニ實際ニ適シタル議論デラウト思フ、登記申請人ガ登記申請ヲスル場合ニハ、必ズシモ登記簿ヲ見テサウシテ取引スル譯デハナイ、登記所ガ非常ニ混雜ヲスル、自分ガ早ク登記ヲ済マシタイト云フノ願書ヲ出ス、登記ガ濟メバ登記官吏カラ其要旨ヲ説明ヲスルモノガ少イノデアアル、登記官吏モ亦登記ノ要旨ヲ説示シテヤルト云フコトハ甚ダ少ナイノデスカラ、ドウモ其間ニ佐野君ノ言ハレタ詐偽ガ行ハレ易イ、然ルニ一番抵當權ガ設定シテアルト云フコトヲ承知シテ、抵當權證書ニモ書キ、登記申請書ニモソレヲ書イテ置ケバ詐偽ガ行ハレナイ、今配付セラレタ參考書ニ依テ見テモ、一番二番トアルノミニテハ、必シモ此抵當ハ一番抵當デト解釋サレナイ、ヤハリ舊制通り證書ニ幾ラノ金額抵當權ガ設定シテアルカト云フコトヲ承知シテ居ル旨ヲ記載サレタ方が間違ガナクテ宜カリサウニ思フノデス、ソレガ司法省ノ政府委員カ、或ハ司法省ノ省令デ、右趣旨ヲ達スル——ト云フコトデアレバ、本員ハ此儘本案ニ賛成シテモ宜シイ、ソレ等ノ協議ハ出來マセヌカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 其御趣意ハ一ツ能グ承ッテ置キマシテ、施行細則ヲ修正サレマスモノナラバ、其方デ御願シタイノデアリマス、ソレデ之ヲ削リマシタノハ、折角書キマシタ所デ詐欺シヤウトスレバヤハリ一番カ一番カ登記官吏ガ注意シタルノガ一番宜イト認メマシテ書イタノデ、詐欺シヤウト云フ位ノ者ハ其位ノコトハスルカラ、實際サウ云フ餘計ノコトヲ書カセル必要ハナイト云フノデアアルマイカト思ハレマス、此削リマシタ理由ガ今ハキリシマセヌガ、ソレデ實ハ登記簿ヲ能ク見マシテ、登記官吏ガ注意ヲ與ヘルト云フコトガ一番宜イノデス、書カヌト云フ問題デナイ、所ガ數百口ノ土地フ一々調査スルノデスカラ、其場合ニハ餘程困難スルノデス、併シ書カセルト云フコトノ必要ガアレバ、施行細則ノ中デモ宜イト思ヒマス

○佐野喜平太君 諄クハ申シマセヌガ、唯今ノハ先刻申シマシタ趣旨ニ依テ私ハ質問結了後修正説ヲ出シタイ積リデアリマス、其中ニ於テ施行細則ノ修正ハ不可能デアラウト思ヒマス、私ノ後ニ述ベルコトデ其コトハ分リマスガ、サウ云フ不満足ノ手續ニ依リヨリハ、明カナル手續ニ依テ十分目的ヲ達セラレル、政府委員ノ言ハレルヤウチ左程ノ御心配ハナイ、サウ云フ餘計ナコトヲセズトモ、實行サレヤウト思ヒマス、質問ガ結了シテカラ申述べマスガ、ドウカ御賛成ヲ得タイノデアリマス

○委員長(法學博士花井卓藏君) ソレデハ質問ハ結了シタコトニシテ、討議ニ入ルコトニ致シマス、不動産登記法中改正法律案全部ヲ議題ニ供シマス、御相談デスガ、修正ノ出ルニ就テモ佐野君ノ意見モ承ッテ居リマスガ、ソレデ主トシテ此案全部ニ就テ御意見ヲ聽イテ、ソレカラ修正ニ移ルコトニシマス、本案ノ全體ニ就テ御意見ガアレバ承リタイ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士花井卓藏君) ソレデハ不動産登記法中改正法律案全部ニ御異議ナイモノト認メマス、次ニ修正ノ御意見ガアレバ承リタイ

○佐野喜平太君 言葉デ申スト面倒デスカラ、成案ヲ以テ申シマス、私ハ第三百七十條一項目ヲ追加致シタイト考ヘマス、ソレヲ讀ミマス「既ニ質權又ハ抵當權ノ設定アル物件

ニ對シ重テ抵當權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ第二債主ノ承諾書ヲ添付スルコトヲ要ス」此一項ヲ附加ヘテ、勿論専門家ノ知識ハゴザイマセヌカラ、法律ノ條文ノ成規上文章ノ修正ハ専門家ニ委シマス

(此間速記中止)

○佐野喜平太君 政府ガ施行細則ニ於テ本日迄ノ意見ヲ容ル、コトヲ言明スルナラバ、修正案ヲ撤回スルモ宜ウゴザリマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 其通りニ致シマス

○野村嘉六君 修正案ハ登記法ノ四十一條ニ先程申シマシタ——修正シマシタ「登記法第四十一條ニ左ノ一項ヲ加フルコト登記原因カ隱居又ハ入夫婚姻ニヨル家督相續ナルトキハ申請書ニ隱居者又ハ女戸主ノ承諾書ヲ添付スルコトヲ要ス」之ヲ第二項ニ修正ノ意見ヲ出シマスガ、併シ今時期モ切迫シテ居ルカラ、取調ベタ上ニ來年マデノ間ニ是ニ對スル方法ヲ付ケテ戴クコトガ出來マシタナラバ、是ハ固執致シマセヌ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 是ハ精々致シマス

○委員長(法學博士花井卓藏君) ソレデハ不動産登記法中改正法律案ハ總テ可決ニナリマシタ、訴訟事件手續法中改正法律案ヲ議題ニ供シマス、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 是ハ主トシテ不動産登記法ノ結果デゴザリマスカラ、鈎合ヲ取ラセルタメノ改正デゴザリマス

○高木益太郎君 本會デモチヨット質問致シマシタガ、不動産登記法ノ六十三條ニ依ルト、登記官吏ノ過誤ニ出タル場合ニハ、登記權利者及ヒ登記義務者ニ通知スルコトヲ要スト云フ規定ガアツテ、非訟事件手續法ノ百五十一條デハ、登記所ガ錯誤ヲヤツタ場合ニハ通知シナクテモ宜イトナッテ居ル、是ハドウデス、政府ノ方デ登記ト云フモノヲ重シズルト云フ上カラ云ヘバ、ヤハリ登記官吏ノ錯誤アラウトモ、又第三者ノ錯誤アラウトモ、同ジク通知スル方ノ主義ニシナケレバ一貫シナイコトハアリマセヌカ、成程傍ニ公告トアリマスガ、公告ハ公告、登記ハ登記デカラ、公告ト登記ノ喰違ヒガアツタナラバ——法律ニ於テハイロ／＼規定シテアルカラ、登記ニ誤リガアツタ場合ニハ通知スル以上ハ、登記所ノ誤アラウトモ其他ノ誤リアラウトモ、通知スルヤウニシナイト一貫シナイコトハアリマセヌカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御尤モデアリマス、本會デモ答ヘマシタ通り、其點ハ形ハ誠ニ一貫シタヤウニ見エルノデアリマスガ、高木君サモ御承知ノ通り不動産ノ登記、或ハ商法中デモ商號ノ登記、夫婦財産ノ契約ト云フモノハ、財産其物ニ就テノ登記デアリマス、ソコデ財産ヲ持ッテ居ル者ガ、ソレヲ處分スルコトニ利害ノ關係ヲ持ッテ居ルカラ、其登記ノ錯誤ト云フコトニ當ニ處分スルコト云フ其モノニ重大ナ關係ヲ持ッテ居リマス、トコロガ商號其他ノ登記ハ會社ノ登記デアリカラ、重役ノ住所位ハ違ッタコロデ影響ハナイ、財産ヲ處分スルコト云フモノニ錯誤ガ影響スル程重大デナイ、現ニ登記ヲ公告スル、此公告ハ官ノ費用デ公告スルコトニナル、却ッテ通知シテヤデモ却ッテラカシイコトニ結局ナラシムル結果ニ過ギマイト思ヒマス、ソレデス、ガカラモウ財産保護ト云

フコト、會社登記ト云フモノ、區別ヲシテ、モウ其他必要ナシト認メタ趣意デアリマス

○高木益太郎君 商號登記ノ場合デモ、名前位ナラバマダ我慢モ出來マスガ、資本記載ノ間違ヒト云フコトニナルト、非常ニ第三者ニ影響スル、或ハ拂込ノ未済ガアルカナイカト云フコトニ就テハ、第三者拂込ガドノ位濟ンデ居ルカト云フコトニ就テ取引關係ヲ決スルコトデ、ソレハ其他ノ不動産登記ト其點ニ於テハ少シモ甲乙ガナイヤウニ考ヘル、ソレカラ登記所ハ相當ナル登記料ヲ取ッテ居ル、高イ登記料ヲ取ッテ、三井ノ如キハ一回デ三十萬圓、南滿鐵道デモ一度シタラ四十萬圓モ取ッテ居ル、其登記ニ登記官吏ノ間違ヒガアツタラ——通知モシナクッテ、何カ弊害ヲ生ズルコトハアリマセヌカ、是ハ一般ノ原則ニ從ッテ登記シタ者ニハ通知スル、斯ウ云フコトハ主義モ一貫シ、ソレカラ又凡ソ役人ノヤル仕事トシテ、自分ガ費用ヲ取ッテ間違ッタ場合ニハ——唯ヤルノデナイカラ、代價ヲ取ッテ間違ッタ場合ニハ誠ニ濟マヌ、斯ウ云フ工合ニ直スト云フコトハ當然ト思ヒマス、武士トシテ當然ナル次第ト思フ、デスカラ役人ノ誤リダケハ黙ッテコソ／＼スルコトハ甚ダ面白クナイト思フノデスカラ、其邊ハ司法省ガ奮發シテ但書ヲ削ッタラドウデスカ

○委員長(法學博士花井卓藏君) サウスルト此項モ削ルノデアリマスカ

○高木益太郎君 サウス

(此間速記中止)

○高木益太郎君 私ハ此百五十一條ノ六ノ第一項ノ但書ヲ削ルト云フ修正説ヲ出シマシタケレドモ、是ハ政府ニ於テ其錯誤又ハ遺漏登記所ノ過誤ニ出タルトキハ、登記ヲナシタル者ニ其旨登記官吏カラ通知スルト云フコトヲ何カ施行細則デ極メテ頂クコトヲ言明セラル、ナラバ、本員ノ修正説ハ撤回シテモ宜シイ、政府ハ御計ヒガ出來マスヤ否ヤ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 其點ハ施行細則ニ極メルコトニハ別段異議ハアリマセヌ

○高木益太郎君 ソレデハ撤回致シマス

○野村嘉六君 政府委員ニ御尋シマス、私ノ眼ガ惡イノカ知リマセヌガ、此修正ニナリマシタ百六十五條ノ規定ハ夫婦財産契約ノ登記ノ更正ニシテ準用ストアリマスガ、私ノ見マシタ非訟事件手續法ノ百六十五條ハ削除サレテ居ル、此削除サレテ居ルノヲ御準用ニナルノデアリマスカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 修正案ニ百六十五條ノ改メタノガ載ッテ居ル、削除シタ場所ヲ借りマシテ新ラシイ條文ヲ入レタノデアリマス

○野村嘉六君 是ダケデ見マス、ドウモ新シイ條文ニナルト見ヘマセヌヤウデアリマスガ

○委員長(法學博士花井卓藏君) チヨット私カラ御注意申シマスガ、私モ其疑ヲ起シタノデアリマスガ、是ハ法制局ノ慣例ニナッテ差支ナイサウデアリマス

○野村嘉六君 モウ一ツハ百五十一條ノ六ノ「前項但書ノ場合ニ於テハ登記所ハ遲滯ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲナスヘシ」トアル此地方裁判所長ト云フノハ、先程聽キマスト通過シタ案デハ此度書記ガヤッテ、判事が監督サレルコトニナルサ

ウデアリマスガ、地方裁判所長トナルト階級ノ順序ガ妙ニナッテ來ヤシナイカト思ヒマス、或ハ區裁判所ノ判事ノ許可ヲ得テトシテハドウデスカ、地方裁判所長トアルト一審カラ大審院ニ行ツタヤウナ心持ガシハヒヌカト思ヒマス、是ハ區裁判所判事ノ許可ヲ得ルト云フノガ相當デアラウト思ヒマス、ソレガ直チニ地方裁判所長デアルト云フト、前ノ判事が登記シタノナラソレデ宜イガ、ドウ云フノデアリマスカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御尤ノ御尋デアリマス、其點ハ元ヤッバリサウシヤウト思ツタノデス、トコロガ書記ガ登記事務ヲスルノハ區裁判所トシテヤルノデアリマスカラ、ヤハリ階級ノ順序トシテ飛ハナイコトニナッテ居リマス

○委員長(法學博士花井卓藏君) 非訟事件手續法中改正法律案、全部御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士花井卓藏君) 可決シマシタ、散會シマス

午前十一時五十二分散會